

長縄典夫議員(当時自由クラブ三役・総務会長)録音・文字起こし

【録音日 2023 年 12 月 14 日】

長縄:悪い悪い、飯食っていたので。

奥村:ありがとうございます、お忙しいところ。ヒヤリングをやらせて頂いていて、大分見えてきたところがありますが、自分がいないところやそういうところで、分からないところがありますので、ちょっとご記憶を分かる範囲で教えて頂きたい。

<録音 0:46~>

先ず、令和4年の秋頃に、加納先生と長縄先生からですね、ここで、

長縄:友松さんが、「自分が言いたくないので、お前たち言いに行ってくれ」と、内容がよく良くわからなかった、

奥村:やっぱり、わからなかったですね、先生から、お二人から「注意しろよ、市当局が奥村が少し強い言い方をしているよ」と言われたので、自分は逆に質問したのですよ、「具体的にどういうことですか？」

長縄:答えられなかったと思うよ。

奥村:二人とも答えられなかったので、自分は、具体的に何を言われているのかがわからなかったのですよ、その時に。

長縄:俺もわからなかった、取り敢えず、友松さんから「俺は言いたくないから、典さん行ってきてくれ」と言われたので、行ってきてくれと言われても。で結局、友松さんが言った通りなのだから、当局から言下に言葉が強いぞと言われていて、ここでは***と書いてあるけど、こんなきれいに言い方を彼はしなかったけど。

奥村:そういうことですね、具体的な話は無かったですよね？

長縄:全然。

奥村:だから、それをもって12月28日に、もう一回言っているはずだと、一回言っているとしても、漠然とした話を、

長縄:あれ、そういう意味か？

奥村:ええ、そうです。あの時、お二人で言われたのがイエローカードだと言っているのです。

長縄:でも1月に入ってから、そんな意味で言った？俺が聞いているのは原稿の話で、

奥村:はい、原稿の話です、それが2番目の話、

長縄:イエローカードは前年だろ？

奥村:前年のチラシを撒いた話。

長縄:1月に入ってから話と全然中身が違うんじゃないの？

梶田正直:中身は違いますよね。

長縄:こんな理解していない、年末の原稿の話で私はあったけど。

梶田:後付けでどんどんどんどん、性格が悪いというー、

奥村:ただ、友松、加納ラインは、自分が二人(長縄、加納)からイエローカードを与えられたのにかかわらず、今回議会報の件でレッドカードになったという様な話。

長縄:そんな風に自覚していない、当局がぶうたらぶうたら言っているから注意しろよというのはこれだよ

奥村:一番最初のもので

長縄:それから、時間が過ぎて、年末の時の原稿の話とこの話だったので、イエローカードの話は私の頭の中に無かった。

奥村:そうですか。お二人(友松、加納)はそれを盾にイエローカードを出し、今回はレッドカードだと、除名にする

という筋書きで、それも筋書きなのですけれどね、本当はもう 28 日に自分が「わかりました」と少し強く言ったことに対して、暴言を吐いたと、あれはもう辞めさせるというのが主旨なんですけど。

長縄:それは友松の個人的な感情だけなんだろ。

奥村:はいはい。

梶田:実は自分もその場に居たのですけれど、あれだけ性格が悪いとか、息子がどうのこうのとかですね、

長縄:それは、パワハラだぞ、完全に。

梶田:それをずーと言われ続けたのですよ。

長縄:それは知っているよ、良く我慢したなと感心していた。

梶田:そこで、やっぱり、人間ですから、やっぱり感情的に「わかりました」と言うのですけど、普通よりも「わかりました」がちょっと大きかった。

長縄:彼は情状的にそういう人間だからな。良いとか悪いとかの判断が出来ないだわ。それは良いけど、こいつは記憶が全く無い。

奥村:二つ目なんですけど、秋ぐらいに、1年ぐらい前ですね、奥村昇次を自由クラブを選挙の前に排除すると、それは安達元議員と同じ手法で、自由クラブを一旦解散して、奥村昇次を除いて再結成するという話をしていたというのを梶田先生は聞いているのですけれど。

長縄:でも実際にやったのは、1月なってからだろ？

梶田:そうです、前倒しになってしまったんですよね。

長縄:この話は、知らん、聞いていないから。

梶田:多分、長縄先生は聞いていないと思います。

長縄:だって私は側近ではなくて、嫌われているから。

梶田:そういう時は、兎に角、われもっこう(喫茶店)とかそういう話を、

長縄:ほとんど、われもっこうには行かなかつたし。

奥村:そういうことですか。

長縄:友松から電話が掛かってくるのは、「どうして典さん役所に出て来てくれないのか」

奥村:そういうのはありましたね。わかりました。

長縄:で、これは記憶に全く無い。

奥村:3つ目ですけれど、12月28日、これが一番事件になった時ですけど、どのような連絡があったのかですけれど。

長縄:連絡でなくて、二つあったよね、まず、期限が遅れていると、それに対して伊藤委員長が催促したと、でも中々出てこないという説明を受けた。

奥村:12月28日に電話で、「奥村が自分に暴言吐いたから辞めさせる」という様なことは言われていないですか？

長縄:聞いていない、そもそもそういう話は私に絶対しないよ彼は。

奥村:逆にそうなんです。伊藤委員長に迷惑を掛けたという話と期限が遅れたという話ですね。

長縄:これだけは聞いた。

奥村:それで1月4日にですね、三役会を開くという話は聞かれたでしょうか？

長縄:開いたんじゃないかなつたっけ、4日は？

奥村:はい、開きました。

長縄:確かに開いたよ。

奥村:それを事前に相談を受けたかというのは無かったですか？

長縄:私に関しては、悪いけど一切相談は無い。

奥村:そういうことですか。

長縄:加納君はわからないよ。

奥村:加納さんとはやっていたかも知りません。1月4日に全員会を開いたのですが、あの時意見としてはですね、加納さんが説明されて、堀尾さんが議会報の原稿の話については、議会委員会マターの話で、会派に持ち込む話ではない、どうしてこのようなことになったのかという疑問点を挟まれていました。奥村ひろし先生も議会報の話で追いつくという様な話を持っていくのはどうかなという話はされていました。

長縄:1月4日は役員会を開いただけで、そこで一番最初の話があったかも知れない。だから2回目**

奥村:役員会ではイエローカードの話が出たかも知らないということですね？

長縄:うん、私の理解は、少なくとも伊藤杏奈委員長が友松さんには困って事務局に顔を出して、注意し督促しても中々原稿が出てこないという内容だった。

奥村:分かりました。裁判でも説明したんですけれども、自分が締切の時にきちんと出したし、それから訂正したらどうかという話の後もきちんと出して、最後は委員会に一任しますということで、21日か22日頃に事務局に投げかけてあったのですよ。

長縄:そんな早い話だったの？

奥村:はい、それで事務局の方でほっといて、1週間ぐらいほっといて、委員長の所に慌てて持っていったのです、委員長の方で、もう年末だからということで慌てて自由クラブに来たということなんですね。

長縄:そんな早ければ、役員会を年内に開けたよな？4日に開かなくても。

奥村:ですから、伊藤杏奈委員長が文句言ったかどうかはわかりませんが、

長縄:督促していたと友松さんから聞いたけど

奥村:督促って、自分は、どちらでも一任してたのですよ。堀尾さんが一任しているのではないですかという話をしていたのですよね。

長縄:友松さんが委員長が督促したけど、中々出てこないという話を私にはされた。

梶田:実は、自分はその時に友松先生に言われて一回電話を掛けたんですね。その時、奥村先生から電話をもらったのです、そうして話を聞いたのです、そうしたら既に28日の16時に原稿を持ってきてそれで全て終わりですと、その時に、いろいろ聞きたいいわゆる質問の部分を削ったものをどうしても委員長は欲しいと言っていますからできますかと聞いたら、もうでそうしてありますと言ったのですね。

長縄:そんな話は聞いとらん

梶田:それがありますから、昇次先生が地元のやつが終わった後に来て、提出したら、それで終わりですという話だったので、友松先生にその話をしたんですよ。で、安心して、自分はプラザホテルに行ったんです。そういう経路があったにかかわらず、自分がプラザから帰ってきたら昇次先生が居たんで驚いた、びっくりしたんですね。その時の昇次先生が大丈夫ですよという様な話が全く聞き入れてもらえなかったことになるんです。

長縄:多分その時点では、私より正直君が、正直先生の方がたぶん近いと思う。私はただ総務会長だから、友松さんとしては巻き込まないと役員会を開けないし、私が発言しなくても、おったという会議録作らないと加納君が困るのだから。あ、そう。

梶田:仕組まれてしまっていたんですね。

奥村:裁判の公判の時に、うちの弁護士が、今回、議会報の問題になっているのだけれど、内容はご存じでしたかという話を友松さんに聞かれたら、「知りません」と

長縄:知る訳がない

梶田:「一切知りません」と

奥村:「一切知りません」といって、こちらが除名になるかどうかの一番大事なところの話を一切知りませんと

長縄:知る訳がない、息まいているだけだから。

<13:05~>

奥村:4つ目です、表決が取れたかどうかはどんなでしょうか？

長縄:役員会では、友松さんや加納君の説明で、2回あった、クレームの話と原稿の話で、こんなに続く様であれば、当局に迷惑を掛けているし、逆に除名も妥当なのではないかということで、役員会では除名の話でいこうかと役員会では決めたよね。

奥村:前提が滅茶苦茶だったのですけど、まあ、そうせざる得ないですよ、二人がそんなことを言うのですからね。

長縄:そんな早い段階で原稿が出ていると説明が無いし。要は友松さんが言うのには、2回も迷惑を掛けた当局にね、当局の人達が困っている、そんな奴を置いとけんと言うんで、それはしょうがないよねという話になった、安達佳代の件もあるので。そう、初めて聞いた。

奥村:1月4日にですね、自分が除名されたということで、会派離脱届出を出す、出さないという話は聞かれました？

長縄:出す出さない？(奥村が)帰っちゃったよね、それで私は全て終わっちゃった、それ以降の話はない、だから全員会も開いていないだよな。

梶田:その時にですね、堀尾先生とか奥村ひろし先生がおかしいんじゃないかと発言をされていました。

長縄:離脱届出は出したの？

奥村:それが出されていなかったのですよ、正式に。というのは、裁判をこちらがするというので向こうが少しビビったところがあって、出さなかったのです。それで、それに続くのですが、1月13日にレディアンで全員会やったじゃないですか。

長縄:全員会というよりは、合法的に、ルール通りに昇次さんを追い出すには一旦自由クラブを解散して、そこでもう一回自由クラブに入りたい人の名簿を作成して、新しく自由クラブを立ち上げようねという話でやっただけで、ただそこで1期の先生方の名簿が取れなかったのだからこうなっちゃったね。

奥村:ですから、3役の先生の一人である長縄先生も13日に開いたのは、会を解散するという話ですよ？

長縄:あなたを除名するということではできないもんだから、全員会(1月4日)で除名したわけじゃないから。

奥村:除名した訳ではないという前提で、13日が開かれたのですよ、そこが焦点ですよ。

長縄:それで正しいね。

梶田:正しいです、みんな同じ理解しています。

長縄:除名ができないんで、合法的に適法的に一旦ばらして再度名簿を集めないといけないという話になったんだよ。

奥村:友松議員は、そうじゃなくて、いろいろごたごたがあったんで気分転換で13日にもう一回開催したと。

梶田:心機一転

長縄:全然違う、合法的に締め出しができないので止む無く自由クラブを解散して、あなたの名前の名簿が入っていなければ、それで自由クラブが立ち上げられるはずだったが、1期の先生方が名前を書いてくれなかったの、結局こうなっちゃったんだよ。

(以下省略)

以上